

第6学年 社会科指導 実践記録

南風原町立南風原小学校 屋良真弓

1. 単元名

平和で豊かな暮らしをみざして

2. 単元目標

・戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて理解するとともに、写真資料、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。(知識及び技能)

・戦後の日本の政治や社会の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。(思考力、判断力、表現力等)

・戦後の日本について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)

3. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
子どもの姿	地域に根ざした体験活動を行ったり、地域を扱った教材を調べたりする中で、「人・もの・こと」と出会い関わることを通して、必要な知識・技能を身につける。	自分なりの考えや思いをもって他者と関わり、協働的な学び合いや対話を通して社会的事象を多角的にとらえ、選択・判断したことを適切に表現することができる。	学んだことをもとに自己のあり方を振り返りながら、よりよい社会的な取り組みの意義をとらえ、持続可能な社会の実現に向けて主体的に問題を解決しようとする。
評価規準	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、写真資料、地図帳や地球儀、統計や年表など「人・もの・こと」と出会い関わることを通して、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催、終戦後の沖縄から米軍統治下に置かれた沖縄の状況などを理解している ②調べたことを年表や図表などにまとめ、戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたこと、また日本における沖縄の異なった状況を理解している	①世の中の様子に着目し、問いを見出し、戦後の日本の政治や社会について考え、表現している。 ②自分なりの考えや思いをもって他者と関わり、協働的な学び合いや対話を通して日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催、沖縄の当時の状況と社会の変化を関連付けたり総合したりして、戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや、米軍統治下におかれた沖縄の現状について知り、学習してきたことをもとに、歴史を学ぶ意味を考えたりして、適切に表現している。	①戦後の日本や沖縄の政治や社会について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習してきたことをもとに今日の自分たちの生活と過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事をもとに現在及び将来の発展を考えたりするなど、持続可能な社会の実現に向けて歴史を学ぶ意味を考えようとしている。

4. 単元について

(1) 教材観

本小単元は、学習指導要領の第6学年の目標及び内容(1)を受け、設定したものである。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(サ) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

本小単元では、終戦直後の日本が、日本国憲法を制定し様々な改革により民主的で平和な国家として出発したことや、国民の不断の努力によって国民生活が豊かになり、国際社会においても重要な役割を果たしてきたことなど、我が国の戦後の歩みを学習する。さらに、現在日本が抱えるさまざまな課題(領土問題、北朝鮮による拉致問題、沖縄の基地問題など)の存在とその歴史的背景をつかんだ上で、そうした課題にどのように向き合い、そのような課題を解決していくためにはどのような社会をつくっていけばいいのか考える場面を設定する。これから、豊かな社会を作っていくために、大切にしたい視点を確認したい。

また、沖縄における戦後復興の様子を、花ブロックを手がかりに学習をすすめていく。沖縄戦により県内全域が焦土と化したことで、戦前の産業は全て灰燼に帰した。その後、サンフランシスコ講和条約により日本から切り離され、米軍統治下で多くの土地を基地に奪われ、切り離された本土からも基地を移される中で、沖縄の人たちは強制的に基地と共存せざるを得ない状況に置かれた。その中で、基地建設で使用したコンクリート製造の技術を自らの血肉とし、亜熱帯の沖縄の風土に合った花ブロックという独自の文化として発展させた経緯を踏まえ、沖縄戦後の様子を多角的に見つめ、考察する。

(2) 児童観

毎年、平和学習の一環として沖縄戦に関する学習は行われているため、太平洋戦争における沖縄の地上戦の惨禍については、ある程度知っている。しかし、悲惨な戦争からどのように復興していったのかなどといった、戦後史については、学ぶ機会がほとんど無かったため知らない児童が多い。昨年度、復帰50年の節目の年であったにもかかわらず、米軍統治下に置かれていた歴史を知らない児童も多かった。

算数科や国語科の授業で「花ブロック」についての学習を行っているため、花ブロックの始まりについては、各自で調べて知っている児童もいる。しかし、終戦直後の沖縄の当時の様子を踏まえて、史実を理解している児童はほとんどいない。

(3) 指導観

指導に当たっては、

「つかむ」段階では、南風原町兼城交差点の終戦直後と現在の写真を比較させるなど、身近な地域の資料を活用することで、興味・関心を引き出し、学習問題づくりにつながるようにしていく。

また、「調べる」段階では、教科書や資料集、作成した年表等の資料を適切に活用していく。日本国憲法の制定、オリンピックの開催などの経緯や当時の国民生活の様子を調べる資料を活用し、国民生活が豊かになり国際社会において重要な役割を果たしてきたことが理解できるようにする。

「深める」段階では、沖縄の戦後復興の様子を、当時の人々の体験談(エピソードシート)を用いて、住民の視点から見つめていきたい。

「まとめる」段階では、「豊かさワークショップ(参加型手法を用いた学習形態)を実施し、児童がこれからの社会を形成する上で、大切にしたいことを実感を伴って考える事ができるようにしたい。これまでのノートや OPP シートの記述を振り返らせる。既習を踏まえ、これからの社会の形成について思考、表現したパフォーマンス課題に取り組ませる。

(4) この題材で働かせるESDの視点(見方・考え方)

- ・相互性・・・終戦直後の米軍統治下の状況が今の花ブロックを始めとする沖縄独特の文化に関連している。
- ・連携性・・・戦後の沖縄の人たちは協力しながら、前向きに生活を立て直していった。これからもそれを継続していくことが大切。

(5) この学習を通して育てたいESDの資質・能力

- ・未来像を予想して計画を立てる力
これからの沖縄を、過去の人たちの工夫や努力を学んで考える力。
- ・多面的・総合的に考える力(システムズ・シンキング)
戦後の復興について、教科書の歴史と自地域の歴史について、比較しながら考える。
- ・コミュニケーションを行う力
戦後の沖縄の歴史について、“紙芝居”を作成。自分が決めた相手に伝える。
- ・つながりを尊重する態度
身近な問題は、過去の課題と密接に関わっているので、自分たちがつないでいかなければならない。

(6) この学習を通して育てたいESDの価値観

- ・世代間の公正
- ・人権・文化を尊重する(チャンプルー文化、上等!)文化多様性の尊重
- ・幸福感を大切にする

(7) 達成が期待される SDGs

- 目標11 住み続けられるまちづくり
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

5. 単元指導計画

時間	ページ	本時の主な問い(仮) 本時のねらい	○主な学習活動/ ◆学習内容	記録に残す
1 2、 つかむ	焼けあとのからの出発 P216~219	戦争が終わった頃、人々はどう ような暮らしをしていたのだ ろう 戦争が終わった頃の暮らしの 様子に着目し、戦後の新しい社 会についての学習問題をつく り、学習の見通しを立てる。	○戦争が終わった頃の暮らしの様子を調べ、人々 がどのような社会を望んだのかを考えながら、 学習問題をつくり、学習の計画を立てる。 ◆戦争が終わった頃の暮らしはとても厳しいも のであったこと、その中で人々は暮らしを立て直 していったこと。	【思判表①】 ○ 【態度①】 ○
		学習問題 (仮) 戦争のあと、人々はどうのように暮らしを立て直し、今日の社 会を築いていったのだろう。		
		敗戦直後の人々はどうのよう な願いをもっていたのだろう		

3、4、5 調べる	もう戦争はしない P220～221	戦争が終わって、日本の社会はどのように変わっていったのだろうか 日本国憲法の制定やさまざまな改革を調べ、日本が目ざした新しい社会のあり方について捉える。	○日本国憲法やさまざまな改革を調べ、戦後の日本が目ざした民主的な社会について考える。 ◆日本国憲法が制定され、国民主権の原則のもとで、平和で民主的な社会づくりが目ざされていたこと。	【知技①】 単元終末のペーパーテストにて評価
	日本の独立と東京オリンピック・パラリンピック P222～223	日本はどのように独立を回復し、国際社会に復帰していったのだろうか サンフランシスコ平和条約や東京オリンピック・パラリンピックの開催などを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を捉える。	○日本が独立を回復した経緯や東京オリンピック・パラリンピックが開催された経緯について調べ、これらのことが国内外に及ぼした影響について考える。 ◆終戦から7年目に日本が独立を回復し、国際連盟にも加入して国際社会へ復帰したこと、その後、東京オリンピック・パラリンピックを開催するまでに国際社会での地位を向上させたこと。	【知技①】 単元終末のペーパーテストにて評価
	産業の発展と国民生活の変化 P224～225	産業が発展するにつれて、人々の暮らしはどのように変化したのだろうか 産業や経済の発展を調べ、社会の様子や人々の暮らしがどのように変化していったのかを捉える。	○産業や経済の発展と人々の暮らしの向上をつなげて考え、経済成長がもたらした変化について理解する。 ◆日本の産業が急速に発展し、人々の暮らしが向上したこと。その一方で、公害の問題が起きたこと。	【知技①】 単元終末のペーパーテストにて評価
6、7 (本時) 深める	自作教材使用	戦後の沖縄の人たちはどのような願いをもって復興していたのだろうか 終戦直後～米軍統治下の沖縄の様子について、資料を使って調べ、人々の生活の様子を捉える。	○エピソードシートや動画資料を使って、戦後の沖縄について調べる。 ◆米軍統治下におかれ、米軍基地と共存を強いられながらも、当時の沖縄の人たちはたくましく、明るく前向きに生きて、生活の立て直しをしていたこと。	【思判表②】 ○
8、9 考え・まとめる	これからの日本とわたしたち P226～227	豊かな社会とは、どのような社会だろうか 戦後の近隣諸国との関係や残された課題を調べ、国際社会の一員として友好や信頼の関係を築いていくことの大切さ捉える。 また、調べたことをまとめ、戦後、さまざまな改革を行い、国際社会からの信頼を回復したことを捉え、戦後の日本の社会を考え、表現している。	○日本と近隣の国々やアメリカとの間に残された課題に目を向け、これからの社会のあり方について考える。 ◆日本と近隣の国々との間には、解決していかなければならない課題が残されていること。ともに発展していくために、平和で友好的な関係を築いていくことが重要であること。	【知技②】 ○
				【思判表②】 ○

6. 資料(別紙参照)

単元内自由進度学習 学習の進め方 児童配布資料

7. 成果と課題

- 花ブロックの歴史を学ぶことを通して、戦後の復興時の沖縄の人々のたくましさや強かさに気づき、それを踏まえてこれからの社会について考える児童の姿が見られた。
- パフォーマンス課題:4 コマ漫画を設定することで、事実の羅列に終始することなく、当時の人々の気持ちや想いを、学んだ事と関連付けて表現することが出来た。
- 単元内自由進度学習にしたことで、教師側が想定していた以上に学習に没頭する児童がいた。
- 「気づき」→「考え」→「実行する」という学習の流れが出来ていなかった。
→「豊かな社会を実現するために自分にできることを考えよう!」と投げかけてみる。

社会科「平和で豊かな暮らしを目指して」

サブ パフォーマンス課題 ②

テーマ「戦後の沖縄の人たち」

(18)番 名前(礼奈)

タイトルの理由

「ブロックは花ブロックくんのことで、花ブロックもつくれた当時の人々、その人たちの気持ちを言葉で人にも伝えてほしくてこのタイトルにしました。


私が考える戦後の沖縄の人たちとは・・・

とても心が強かったのだと思います。戦後でも暮らしはあまり良くならないうち、また平和な世の中でもないアメリカ統治下のときでも笑ってはなせるト子さんのようなとても強い心のもち主だと思いました。

タイトル

ブロックの原真

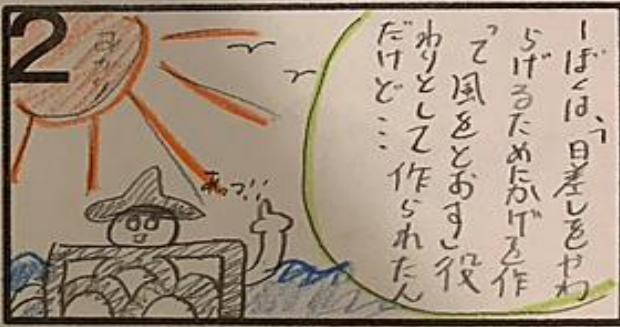
1



パナム!!

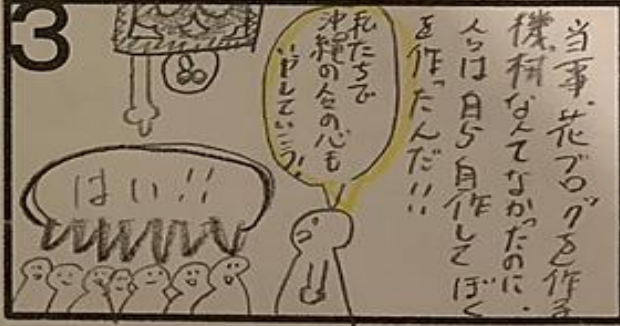
はろりほろの名前
はろりほろ、よろしく
さぞくだいど、ほろの長
い長い歴史を見て
くれ!!

2



はろりほろ、目差しをわ
らげるためたかける作
りて風をとあす、役
わりとして作られたん
だけとミ

3

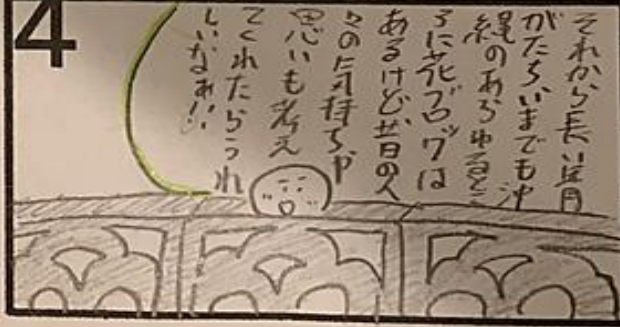


私たちが
沖縄の人の心も
いっしょにミ

はい!!

当事、花ブロックを作る
機材なんてなかったのに
人らは自分自作してほ
ろ作ったんだ!!

4



それから長い年月
かたういまでも沖
縄のあちこち
うに花ブロックは
あちこち昔の人
々の気持ちや
思いも考え
てくれたらうれ
しいなあ!!

「平和で豊かな暮らしをめざして」(標準時間 8 時間)

(30)番 名前 金城 リセ

学習前 戦争を一生かかっている、
今更には何を学べるのか。

学習問題
戦争のあと、人々はどのような想いをもつて暮らしを立て直し、今日の社会を築いていったのだろうか。

回数	日付	計画	実施(いつ)内 実施(どこ)	今日の学習で一番大切なと思ったこと	疑問や感想など 次に向けて...
1	11/30	焼け跡からの出発①	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
2	12/1	焼け跡からの出発②	今日の10を @を材料-	焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
3	12/1	もう戦争はしない	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
4	12/1	日本の独立と東京オリンピック	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
5	12/1	産業の発展と国民生活の変化	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
6	12/1	沖縄の戦後と戦後の様子	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
7	12/1	これからの日本とわたしたち	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。

君は何か変わったかな?

学習前・中・後を振り返り、改めて、何がわがりましたか? また、今回の勉強を通して、あなたは何かのようになつてきましたか? そのことについて、あなたはどのように感じますか? 感想でもかまいませんので自由に書いてください。

学習後 戦争のあと、人々はどのような想いをもつて暮らしを立て直し、今日の社会を築いていったのだろうか。

「平和で豊かな暮らしをめざして」(標準時間 8 時間)

(21)番 名前 新垣希和

学習前 かなしい気持ちだと思ひ、
みんなが協力し、今の暮らしのよさにして、
なりたい。

学習問題
戦争のあと、人々はどのような想いをもつて暮らしを立て直し、今日の社会を築いていったのだろうか。

回数	日付	計画	実施(いつ)内 実施(どこ)	今日の学習で一番大切なと思ったこと	疑問や感想など 次に向けて...
1	11/30	焼け跡からの出発①	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
2	12/1	焼け跡からの出発②	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
3	12/1	もう戦争はしない	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
4	12/1	日本の独立と東京オリンピック	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
5	12/1	産業の発展と国民生活の変化	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
6	12/1	沖縄の戦後と戦後の様子	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。
7	12/1	これからの日本とわたしたち	今日の10を @を材料-	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。	戦争のあと、 焼け跡から 出発した人々の 生活の様子を 知ることができた。

君は何か変わったかな?

学習前・中・後を振り返り、改めて、何がわがりましたか? また、今回の勉強を通して、あなたは何かのようになつてきましたか? そのことについて、あなたはどのように感じますか? 感想でもかまいませんので自由に書いてください。

学習後 戦争のあと、人々はどのような想いをもつて暮らしを立て直し、今日の社会を築いていったのだろうか。